

●がん検診とは

現在、わが国のがんによる死亡者数は年間 30 万人を超え、死亡原因の第 1 位を占めるようになりました。しかし診断と治療の進歩により、一部のがんでは早期発見、そして早期治療が可能となってきました。がん検診はこうした医療技術に基づき、がんの死亡率を減少させることができる確実な方法です。がん検診を正しく受けるためには、「がん検診を正しく知る」ことが必要です。正しく知り、がん検診を受診することが重要です。がんができる部分が異なればがんの特徴も変わってきます。がん検診では、それぞれのがんを調べるのに適した検査が用意されています。



厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に定められた検診

対象臓器	効果のある検診方法	対象者	受診間隔
胃	問診に加え、胃部エックス線または胃内視鏡検査のいずれか	50 歳以上※	2 年に 1 回※
子宮頸部	問診、視診、子宮頸部の細胞診、および内診	20 歳以上	2 年に 1 回
乳房	問診および乳房エックス線検査(マンモグラフィ)	40 歳以上	2 年に 1 回
肺	質問(医師が自ら対面により行う場合は問診)、胸部エックス線検査および喀痰細胞診(ただし喀痰細胞診は、原則 50 歳以上で喫煙指数が 600 以上の方のみ。過去の喫煙者も含む)	40 歳以上	年 1 回
大腸	問診および便潜血検査	40 歳以上	年 1 回

※:当分の間、胃部エックス線検査に関しては 40 歳以上年 1 回の実施も可

●がん検診のメリット、デメリット



がん検診は、早期のがんを見つけて早めに治療を行うことで、がんによる死亡率を低下させるという素晴らしいメリットがあります。子宮頸がん検診のように、がんになる前の異常細胞を見つけるものもありますが、一方でデメリットもあります。内容をよく理解したうえで、みなさんの健康と安心のためにがん検診を利用してください。

メリット		デメリット	
救命	最大のメリットは、早期発見、早期治療による救命です。	100%ではない	がんの場所や種類によっては見つけづらいことがあります。また、見落とすこともあるのが現状です。
早期発見	早期であれば治せる可能性は非常に高く、治療も軽くすむことが多いので、身体的負担・経済的負担や時間は一般的に少なくてすみます。		
防止	ポリープや潰瘍、異型上皮などがんになる前段階の病変が見つかることもあります。必要に応じて治療することで、がんになることを防ぐことができます。	身体に負担	胃部X線検査で使うバリウムは便秘になることがありますし、内視鏡では、出血や穿孔(せんこう)といって胃や腸に穴を開けてしまうこともあります。放射線には被曝(ひばく)の問題があります。また、結果的には必要のない精密検査を受診しなければならない場合もあります。
安心	定期的ながん検診を受けて「異常なし」と判定されれば、ひとまず安心してすごすことができます。		

●がんは血液検査でわかるの？

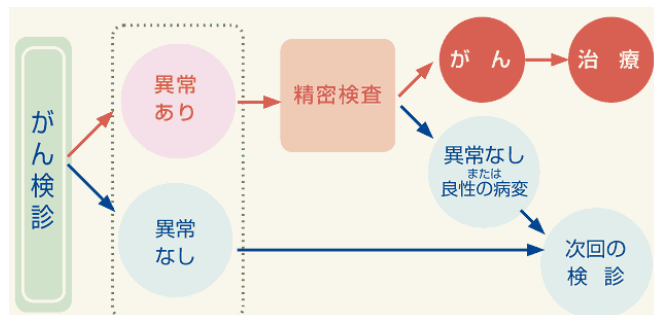


体内でがんができると血液や尿に健康時には発見できない物質が増えるようになります。これらの物質の量を測定することでがんの疑いの有無を調べることが血液でのがん検査の仕組みです。早期がん等の見つけにくい病変の場合には、画像検査では確認できずがん見逃す場合があります。そのため腫瘍マーカーをはじめとする「がんの血液検査」を「画像検査」と合わせて受けていただくことをお勧めします。

検査名	説明	対象部位	精度	初期ステージでの判別	価格
腫瘍マーカー	がん細胞から出る特殊なたんぱく質を測定	各部位	△	△	◎
H.ピロリ抗体検査 ペプシノゲン検査	ピロリ菌感染とペプシノゲンの結果で評価	胃	△	△	◎
コロジック パナシー	がんで特徴的に減少する脂肪酸を測定	大腸 膵臓	○	○	○
アミノインデックス	アミノ酸濃度を分析・解析	男性: 胃・肺・大腸・前立腺 女性: 胃・肺・大腸・乳・子宮・卵巣	○	○~△	△
マイクロアレイ	遺伝子レベルでがんへの免疫応答を測定	胃・大腸 膵臓・胆道	◎	◎	△

●精密検査は必ず受診しましょう

がん検診は、一見健康な人に対して、「がんがありそう(異常あり)」、「がんがなさそう(異常なし)」ということを判定し、「ありそう」とされる人を精密検査で診断します。「精密検査が必要」と判断された場合には、受診し、「がん」と判定された場合は、治療へ進むことが重要です。途中で精密検査や治療を受けない場合は、がん検診の効果はなくなってしまいます。



当施設でできる血液のがん検査のオプション検査

腫瘍マーカー	肺がん検査	SCC・Pro-GRP・シフラ				¥7,200 [税別]	
	スクリーニング検査	CEA・CA19-9・AFP				¥5,000 [税別]	
	大腸がん検査	CEA	前立腺がん検査	PSA	肝臓がん検査	AFP	各 ¥2,000 [税別]
	すい臓がん検査	CA19-9		扁平上皮がん検査	SCC		
	子宮がん検査	CA125		乳がん検査	CA15-3		
胃がん血液セット	血液ピロリ菌検査・ペプシノゲン				¥4,000 [税別]		
大腸がんリスク検査	コロジック(脂肪酸)を測定し可能性を調べます				¥15,000 [税別]		
すい臓がんリスク検査	パナシー(脂肪酸)を測定し可能性を調べます				¥15,000 [税別]		
アミノインデックス	血液中のアミノ酸濃度を測定しリスクを評価します				¥25,000 [税別]		
マイクロアレイ	がん等の異物に対する体の反応を遺伝子レベルで測定				¥90,000 [税別]		

バックナンバーはホームページよりダウンロードできます。

定期配信を希望される方や内容についてのご質問がございましたらお気軽にお問い合わせください。